

令和 5 年 3 月 10 日

内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（避難生活担当）様

都道府県名 北海道

## 個別避難計画作成モデル事業（都道府県事業）最終報告書

令和 4 年度【内閣府事業】避難行動要支援者に係る個別避難計画の作成の推進において、モデル事業（都道府県事業）の実施にあたり、最終報告書を提出します。

## 【都道府県情報、事業概要】

都道府県名	北海道																		
所在地	〒060-8588 北海道札幌市中央区北 3 条西 6 丁目																		
担当部局連絡先	保健福祉部総務課危機管理係 T E L:011-204-5242																		
連携部局連絡先	総務部危機対策局危機対策課災害対策係 T E L:011-204-5900																		
連携団体																			
事業概要	市町村と一体的に行う事業で	ある (㊦-1)	ない (㊦-2) ○																
<p>・ これまでも防災部局と保健福祉部局が連携しながら、市町村における個別避難計画作成促進に取り組んでいるが、本道における個別避難計画の作成状況は、全国と比較して進んでいない状況となっている。</p> <p>【個別避難計画作成状況】（令和 2 年 10 月 1 日現在 消防庁調査）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>全部作成</th> <th>一部作成</th> <th>未作成</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全国</td> <td>9.7%</td> <td>56.9%</td> <td>33.4%</td> </tr> <tr> <td>北海道 (16市町村)</td> <td>8.9%</td> <td>30.7%</td> <td>60.3%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(55市町村)</td> <td>(108市町村)</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ このため、道内全市町村を対象とした研修会や個別市町村を対象としたより重点的な研修会を開催するなど、市町村が個別避難計画作成に積極的に取り組めるよう支援を行うとともに、支援の必要性などに応じ、未作成市町村に対する定期的な取組結果の確認・課題に応じた助言・個別訪問等を行うなど伴走型の支援を実施する。</p>					全部作成	一部作成	未作成	全国	9.7%	56.9%	33.4%	北海道 (16市町村)	8.9%	30.7%	60.3%			(55市町村)	(108市町村)
	全部作成	一部作成	未作成																
全国	9.7%	56.9%	33.4%																
北海道 (16市町村)	8.9%	30.7%	60.3%																
		(55市町村)	(108市町村)																
備考																			

## 【都道府県の事業概要等に関する取組の実施結果】(北海道)

記載項目名	令和 4 年度末時点の状況
<b>【 1 】</b> 都道府県事業名 事業概要	避難行動要支援者対策促進事業  道内全市町村を対象とした研修会や個別市町村を対象としたより重点的な研修会を開催するなど、市町村が個別避難計画作成に積極的に取り組めるよう支援を行うとともに、支援の必要性などに応じ、未作成市町村に対する定期的な取組結果の確認・課題に応じた助言・個別訪問等を行うなど伴走型の支援を実施する。
<b>【 2 】</b> 事業実施体制 庁内の連携体制	(保健福祉部局) 保健福祉部総務課危機管理係 (防災部局) 総務部危機対策局危機対策課災害対策係  <b>【これまでに行った取組 (検討したことを含む)】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別避難計画等に関する研修会を協働で開催</li> <li>・ 個別避難計画等に係る情報共有や市町村に通知を防災部局と保健福祉部局で連名により発出するなど連携</li> </ul> <b>【現時点における課題】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一定の連携体制は確立していると考えている</li> </ul> <b>【対応の方向性】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き、上記取組を継続するとともに、本道の広域性を鑑み、保健所との連携について検討</li> </ul>
<b>【 3 】</b> 事業実施体制 庁外との連携体制	<b>【これまでに行った取組 (検討したことを含む)】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福祉関係団体等主催の会議・研修等の場で要配慮者対策について説明などを行っている</li> </ul> <b>【現時点における課題】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別避難計画の作成等に関する協力依頼や研修の実施</li> </ul> <b>【対応の方向性】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き、上記取組を継続するとともに、福祉関係職能団体等に対する個別避難計画の作成等に関する協力依頼や研修の実施を検討</li> </ul>
<b>【 4 】</b> モデル事業の実施 内容、実施方法	<b>【取組実績】</b> ※ 1についてはモデル事業とは別事業での実施 1 要配慮者・避難行動要支援者に関する実務研修 (R4. 8. 31開催) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市町村防災研修事業 ((一財) 消防防災科学センター) による実施</li> <li>・ 83市町村・195名の参加【会場参加 22名 オンライン参加 173名】</li> <li>・ 研修事業者による個別避難計画・福祉避難所等の講話・ワークショップ</li> <li>・ 道による個別避難計画・福祉避難所の情報提供</li> </ul> 2 個別避難計画作成モデル事業による全体研修会 (R4. 9. 29開催) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 107市町村・227名参加【オンライン開催】</li> <li>・ 個別避難計画に関する基礎的な研修会</li> <li>・ 内閣府による制度説明、講師による講演、道内先行市町村からの取組事例紹介</li> </ul>

- 3 個別避難計画作成モデル事業による個別研修会 (R4. 11~R5. 1)
- ・ 7回開催・35市町村の参加【実地又はハイブリッド開催】  
(内訳：札幌2回 釧路 帯広 北見 函館 旭川)
  - ・ 地域別で近隣の少数市町村による実施とし、各市町村への講師による個別的な助言や意見・情報交換の場の提供を行った重点的な研修会
  - ・ 市町村による取組状況等の説明、講師による助言等、質疑応答、意見・情報交換
- 4 未作成市町村への個別訪問 (7市町村)
- ・ 取組状況のヒアリング、課題における対応方策等の助言、情報提供
- 5 個別避難計画の早期着手の働きかけ・取組予定表による進捗管理
- ・ 内閣府事務連絡に基づき、未作成市町村の作成予定時期を調査
  - ・ 令和5年度以降の作成予定と回答のあった市町村に対し、文書や電話等で前倒しの働きかけを実施
  - ・ 未作成市町村に対し、取組予定表の作成依頼、取組予定表による進捗確認実施

## 【課題に対する取組結果等】

## 個別避難計画作成状況

	国調査1 (R4.1.1現在) ①	早期着手調査 (R4.7~8) ②	進捗確認1 (R4.8末現在) ③	進捗確認2 (R4.11末現在) ④	国調査2 <sup>*2</sup> (R5.1.1現在) ⑤
作成済	76 (うち全部作成済16)	82	83	87	85 (うち全部作成済15)
R4予定	38 <sup>*1</sup>	87	79	75	48
R5(以降)予定	65	10	17	17	38
R6以降予定	—	—	—	—	7

※1 R3予定と回答のあった1村を含む ※2 未確定 (国への報告ベース・未回答あり)

## 1 未作成市町村数の減少

## 取組結果

- ・ 作成済及びR4作成予定市町村数の増加
- ・ 早期着手調査 (R4. 7~8) 時点では、R4作成予定市町村が大幅に増加したが、国調査2 (R5. 1. 1現在) 時点で減少している

## 結果の理由・背景など考察

- ・ 本モデル事業等による研修会・伴走型支援により、市町村における個別避難計画に関する業務の優先度が高くなったこと、個別避難計画作成の課題解決等の一助となったことが考えられる
- ・ 早期着手調査時点では、前向きに検討いただいたが、現実的な問題としてマンパワー不足や優先的な他業務の発生などが影響したことにより、直近の調査ではR4作成予定市町村が減少したと考えられる

	<p>2 全部作成市町村数の増加</p> <p><b>取組結果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・減少している (R4.1.1現在 16 → R5.1.1現在 15)</li> </ul> <p><b>結果の理由・背景など考察</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本モデル事業等による今年度の取組については、未作成市町村を対象とした内容が主であったことが考えられる</li> <li>・市町村における作成対象者の範囲の整理などが考えられる</li> </ul> <p><b>【対応の方向性 (R5以降の取組の検討)】</b></p> <p>引き続き、「未作成市町村数の減少」及び「全部作成市町村数の増加」に向けた取組を継続</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○未作成市町村への伴走型支援の継続 (定期的な進捗確認・個別訪問の検討)</li> <li>○福祉関係職能団体等に対する協力依頼・研修会の検討</li> <li>○先進市町村の事例収集・情報提供</li> </ul>
<p><b>【5】</b> アピールポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本モデル事業参画前までの取組においては、防災部局主催の会議・研修等の場で要配慮者対策について説明を行うことや市町村における個別避難計画等の取組状況調査を実施し、その結果をフィードバックするなど市町村全体に対する支援に主に取り組んできた。</li> <li>・しかしながら、個別避難計画の作成状況は全国と比較して進んでいない状況であるため、本モデル事業等による研修会や伴走型支援を行うことにより、可能な限り市町村と密接に関わり合い、市町村の個別避難計画作成の実効性を高めていくことを目指した。</li> </ul>
<p><b>【6】</b> 事業による 成果目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未作成市町村数の減少</li> <li>・全部作成市町村数の増加</li> </ul>
<p><b>【7】</b> 事業実施 スケジュール</p>	<p><b>【研修会】</b></p> <p>R4 8月31日 要配慮者・避難行動要支援者に関する実務研修</p> <p>9月29日 個別避難計画作成モデル事業による全体研修会</p> <p>11月～1月 個別避難計画作成モデル事業による個別研修会 (計7回)</p> <p><b>【伴走型支援】</b></p> <p>R4 6月～7月 未作成市町村への個別訪問 (7市町村)</p> <p>6月～ 個別避難計画の早期着手の働きかけ・取組予定表による進捗管理</p> <p>進捗確認1 R4.8末現在</p> <p>進捗確認2 R4.11末現在</p> <p>進捗確認3 R5.3末現在 (見込)</p>
<p><b>【8】</b> 特記事項</p>	

## 【応募の要件に関する取組の実施結果】(北海道)

要件	令和4年度末時点の状況
<p>(A) 令和4年度末までに管内の全ての市町村が個別避難計画の作成に着手することを目指した取組であること。</p>	<p><b>【解決を図ろうとした課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未作成市町村数の減少</li> </ul> <p><b>【これまでに行った取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○研修会の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・要配慮者・避難行動要支援者に関する実務研修 (R4. 8. 31開催)</li> <li>・個別避難計画作成モデル事業による全体研修会 (R4. 9. 29開催)</li> <li>・個別避難計画作成モデル事業による個別研修会 (R4. 11～R5. 1 計7回開催)</li> </ul> </li> <li>○未作成市町村への個別訪問 (7市町村)</li> <li>○個別避難計画の早期着手の働きかけ・取組予定表による進捗管理</li> </ul> <p><b>【現時点における課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未作成市町村数は減少しているものの、令和5年以降作成予定市町村が多数残る状況</li> </ul> <p><b>【対応の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・可能な限り早急に着手いただくよう、継続した進捗確認や必要に応じた支援・働きかけを実施</li> </ul>
<p>(B) 都道府県の防災担当や福祉担当等の関係部署が共同して事業を実施する体制があること。</p>	<p><b>【解決を図ろうとした課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災部局と保健福祉部局の連携体制の確保</li> </ul> <p><b>【これまでに行った取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別避難計画等に関する研修会を協働で開催</li> <li>・個別避難計画等に係る情報共有や市町村に通知を防災部局と保健福祉部局で連名により発出するなど連携</li> </ul> <p><b>【現時点における課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の連携体制は確保できていると考えている</li> </ul> <p><b>【対応の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、上記取組を継続するとともに、本道の広域性を鑑み、保健所との連携について検討</li> </ul>
<p>(C) 都道府県による管内市町村の進捗管理、定期的な報告や共有の場を設置すること。</p>	<p><b>【解決を図ろうとした課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・可能な限り密接な市町村との関わり合い</li> </ul> <p><b>【これまでに行った取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別避難計画等の取組状況調査の実施 (R4. 7. 1現在)</li> <li>・個別避難計画の早期着手の働きかけ・取組予定表による進捗管理</li> <li>・未作成市町村への個別訪問 (7市町村)</li> </ul> <p><b>【対応の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、上記取組を継続</li> </ul>

## 【ステップごとの取組の実施結果】(北海道)

ステップ		実施結果 ◎,○,△,▲	記載事項	記載欄															
1	庁内外における推進体制の整備、個別避難計画の作成・活用方針の検討	◎	課題	未作成市町村数が多数あり、また、R5以降着手予定の市町村の割合が高い (R4.1.1現在 内閣府・消防庁調査)															
			取組内容 (取組方針)	市町村を対象とした研修(基礎的・地域別重点的)や伴走型支援(個別訪問・取組予定表による進捗管理)の実施															
			取組の成果・結果	作成済及びR4作成予定市町村数の増加 (R5.1.1現在 内閣府・消防庁調査)															
			理由	本モデル事業等による研修や伴走型支援の実施により、市町村における個別避難計画に関する業務の優先度が高くなったこと、個別避難計画作成の課題解決等の一助となったことが考えられる															
				<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">全部作成</th> <th rowspan="2">一部作成</th> <th rowspan="2">未作成</th> <th colspan="3">未作成市町村の着手予定</th> </tr> <tr> <th>R3予定</th> <th>R4予定</th> <th>R5以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16</td> <td>60</td> <td>103</td> <td>1</td> <td>37</td> <td>65</td> </tr> </tbody> </table>	全部作成	一部作成	未作成	未作成市町村の着手予定			R3予定	R4予定	R5以降	16	60	103	1	37	65
全部作成	一部作成	未作成	未作成市町村の着手予定																
			R3予定	R4予定	R5以降														
16	60	103	1	37	65														
				<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">全部作成</th> <th rowspan="2">一部作成</th> <th rowspan="2">未作成</th> <th colspan="3">未作成市町村の着手予定</th> </tr> <tr> <th>R4予定</th> <th>R5予定</th> <th>R6以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>70</td> <td>93</td> <td>48</td> <td>38</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※未確定(国への報告ベース・未回答あり)</p>	全部作成	一部作成	未作成	未作成市町村の着手予定			R4予定	R5予定	R6以降	15	70	93	48	38	7
全部作成	一部作成	未作成	未作成市町村の着手予定																
			R4予定	R5予定	R6以降														
15	70	93	48	38	7														
2	計画作成の優先度に基づき対象地区・対象者を選定	—	課題																
			取組内容 (取組方針)																
			取組の成果・結果																
			理由																
3	福祉や医療関係者等に個別避難計画の意義(目的、制度概要、作成の必要性等)や事例を説明	△	課題	庁外の福祉関係団体との連携不足															
			取組内容 (取組方針)	既存の会議の場(北海道災害派遣支援ネットワーク)で個別避難計画の概要について説明															
			取組の成果・結果	幅広い福祉関係団体に個別避難計画を周知することができたが、具体的な取組への協力依頼はできていない															
			理由																
4	避難支援者となる自主防災組織や地区住民に個別避難計画の意義や事例を説明	—	課題																
			取組内容 (取組方針)																
			取組の成果・結果																
			理由																
5	市町村における本人の基礎情報の収集、関係者との事前調整等	—	課題																
			取組内容 (取組方針)																
			取組の成果・結果																
			理由																
6	市町村、本人・家族、福祉や医療関係者等による個別避難計画の作成	—	課題																
			取組内容 (取組方針)																
			取組の成果・結果																
			理由																

7	作成したら終わり ではなく実効性 を確保する取組 を実施	—	課 題	
			取組内容 (取組方針)	
			取 組 の 成果・結果	
			理 由	

◎ : 成果を十分得ることができた

○ : 一定の成果を得ることができた

△ : あまり成果を得ることができなかった

▲ : ほとんど成果を得ることができなかった

## 【事業の種類ごとの取組の実施結果】(北海道)

事業の種類	実施結果 ◎, ○, △, ▲, - を記載	令和4年度末時点の取組の概要・状況など
(ア) キーパーソンへの働きかけに関するもの	-	
(イ) 伴走支援に関するもの	◎	<p>【当初、解決を図ろうとした課題】</p> <p>市町村との関係の希薄さの改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市町村数が多いため、個別対応が困難な実情もあるが、個別避難計画への意識・関心を高めるため、可能な限り市町村と密接に関わり合うこと</li> </ul> <p>【これまでに行った取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>未作成市町村への個別訪問（7市町村）</li> <li>個別避難計画の早期着手の働きかけ・取組予定表による進捗管理</li> </ul> <p>【現時点における課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>未作成市町村数は減少しているものの、令和5年以降作成予定市町村が45市町村ある（R5.1.1現在 内閣府・消防庁調査）</li> <li>※ 未確定（国への報告ベース・未回答あり）</li> </ul> <p>【対応の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>可能な限り早急に着手いただくよう、継続した進捗確認や必要に応じた支援・働きかけを実施</li> </ul>
(ウ) 難病患者等の医療的ケアを要する方に関するもの	-	
(エ) 横展開に関するもの	○	<p>【これまでに行った取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○個別避難計画作成モデル事業による全体研修会 <ul style="list-style-type: none"> <li>市町村からの取組事例紹介（道内2市町）</li> </ul> </li> <li>○個別避難計画作成モデル事業による個別研修会 <ul style="list-style-type: none"> <li>個別研修会参加市町村が作成した取組状況等説明資料を研修会終了後に道内市町村に共有</li> </ul> </li> </ul> <p>【現時点における課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>取組事例の更なる収集</li> </ul> <p>【対応の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多様な取組事例の収集を行い、市町村への展開に努める</li> </ul>
(オ) 大学等の有識者等との連携に関するもの	○	<p>【これまでに行った取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○個別避難計画作成モデル事業による全体研修会 <ul style="list-style-type: none"> <li>講演（道内有識者（福祉専門職））</li> </ul> </li> <li>○個別避難計画作成モデル事業による個別研修会 <ul style="list-style-type: none"> <li>市町村の取組に対する助言等（道内有識者（福祉専門職））</li> </ul> </li> </ul>
(カ) その他のもの	-	



- ◎：成果を十分得ることができた  
 ○：一定の成果を得ることができた  
 △：あまり成果を得ることができなかった  
 ▲：ほとんど成果を得ることができなかった  
 —：取り組んでいないもの

## 【研修会や説明会等の講師等の一覧】

氏名	所属・役職	研修会や説明会等	
		名称	概要
篠原 辰二	一般社団法人 Wellbe Design 理事長（福祉専門職）	①個別避難計画作成モデル事業 による全体研修会 ②個別避難計画作成モデル事業 による個別研修会（計7回）	①講演 ②市町村の取組に対する助言 等

## 【取組に参画している関係者の一覧】

取組の種類	概要（参加者等）	備考（巻き込む工夫など）
個別避難計画作成に参画した関係者	—	
地域調整会議	—	
避難支援等実施者	—	
避難支援等関係者	—	
避難訓練への参加者、参加機関や団体等	—	
その他	—	

## 【人員の確保状況】

個別避難計画作成支援に関する人員体制			
部署名： 保健福祉部総務課	専任（名）	常勤：1	会計年度任用職員：
	兼任（名）	常勤：	会計年度任用職員：
部署名： 総務部危機対策局危機対策課	専任（名）	常勤：1	会計年度任用職員：
	兼任（名）	常勤：	会計年度任用職員：
部署名：	専任（名）	常勤：	会計年度任用職員：
	兼任（名）	常勤：	会計年度任用職員：

## 【予算の確保状況】

個別避難計画の作成支援に関する予算	
令和3年度決算額	(うち、市町村への補助金等に関するもの： )
令和4年度決算見込額	(うち、市町村への補助金等に関するもの： )
令和5年度当初予算額	(うち、市町村への補助金等に関するもの： )
特に予算措置なし	○
(参考) 避難行動要支援者数(人)	312,437人(R4.1.1現在 内閣府・消防庁調査より)

## 【個別避難計画の周知、普及・啓発等のために作成したもの】

媒体の種別	実施内容の種別	概要(タイトル、URLなど)
紙媒体	広報誌	
	チラシ	
	ポスター	
	町内会や自治会などへの回覧物	
	リーフレット	
	その他	
電子媒体	動画	
	広報誌	
	SNS	
	ウェブサイト	
	広報番組	
	その他	

## 【個別避難計画作成の取組のイメージをつかむのに役立つ報道や講演などの動画や資料など】

--

## 【参考にした他市町村、都道府県、関係団体等の取組】

次年度以降の取組検討にあたっての参考 ○福祉専門職等を対象とした研修 ・茨城県、兵庫県
---